

## ● 世界の主な地震

令和 4 年（2022 年）8 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

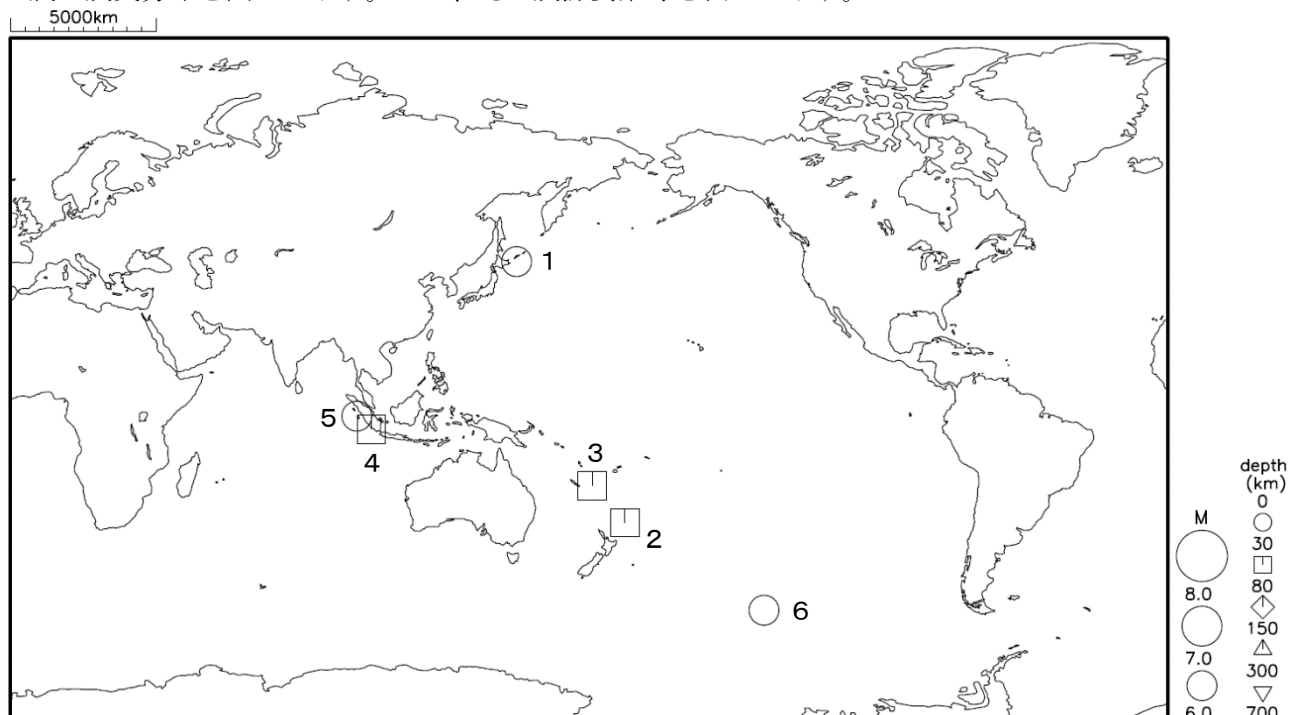


図 1 令和 4 年（2022 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 4 年（2022 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	08月07日22時40分	N43° 43.8′	E147° 44.0′	ごく浅い		6.0	6.0 <sub>G</sub>	北海道東方沖			
2	08月14日22時44分	S32° 44.1′	W179° 00.5′	30			6.6	ケルマデック諸島南方			
3	08月15日06時04分	S22° 04.6′	E170° 57.9′	78			6.4	ローヤリティー諸島南東方			
4	08月23日23時31分	S 5° 04.4′	E103° 04.9′	51			6.2	インドネシア、スマトラ南部			
5	08月29日12時29分	N 0° 59.5′	E 98° 36.3′	17			6.2	インドネシア、スマトラ北部			
6	08月30日18時09分	S54° 38.3′	W136° 10.2′	10			6.3	太平洋-南極海嶺			

- ・震源要素は米国地質調査所 (USGS) ホームページの” Search Earthquake Catalog” (<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2022 年 9 月 7 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所、2022 年 9 月 7 日現在)、国内は総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。  
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「\*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。
- ・津波の観測値は、米国海洋大気庁 (NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration) による。

# 9月5日 中国、スーチョワン（四川）省の地震

2022年9月5日13時52分（日本時間、以下同じ）に中国、スーチョワン（四川）省の深さ10kmでMw6.7（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

今回の地震により、中国で死者65人などの被害が生じた。

今回の地震の震央周辺は、南西側でインド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートが衝突しており、地震活動が活発な地域である。

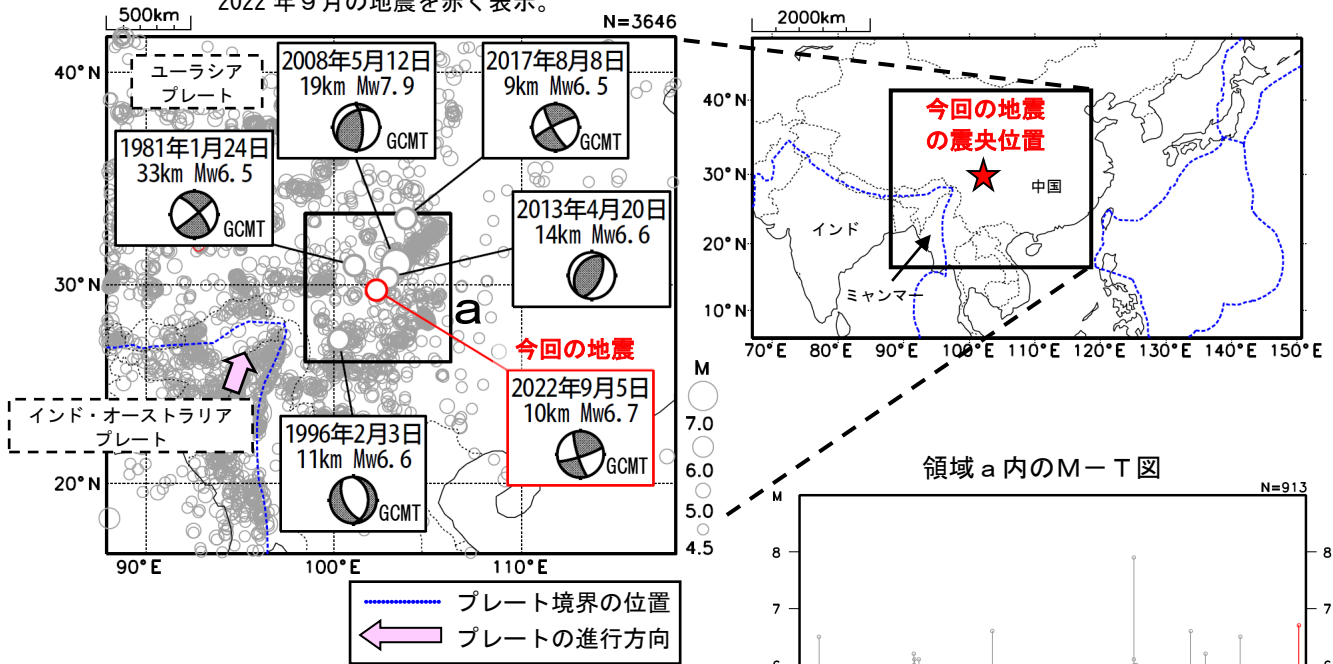
1980年以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しており、2008年5月12日にはMw7.9の地震が発生し、死者69,195人などの被害が生じた。

また、1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM6.0以上の地震がしばしば発生しており、多くの死者を伴う被害が生じている。

震央分布図

(1980年1月1日~2022年9月5日、深さ0~100km、M≥4.5)

2022年9月の地震を赤く表示。

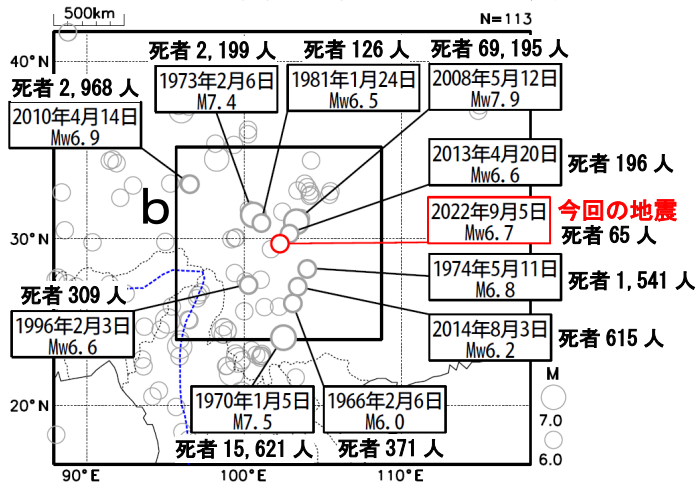


震央分布図

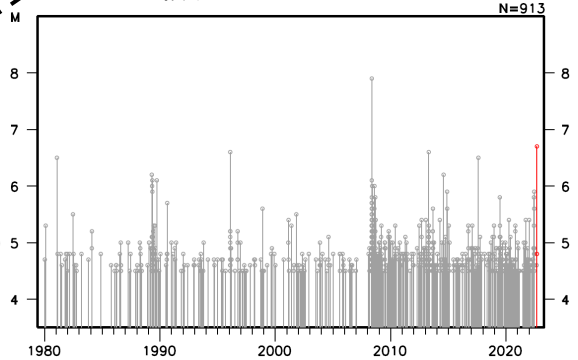
(1960年1月1日~2022年9月5日、深さ0~100km、M≥6.0)

2022年9月の地震を赤く表示。

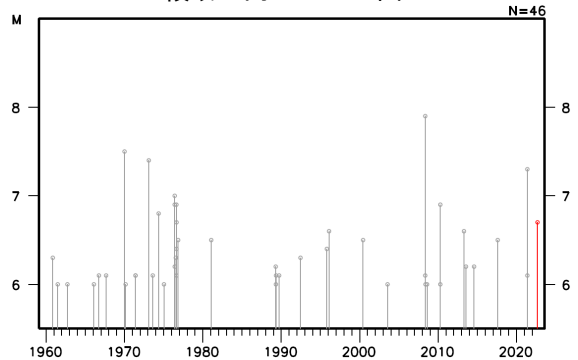
吹き出しは被害が死者100人以上の地震。



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年9月6日現在）。ただし、発震機構とMwは、2010年4月14日の地震及び2013年4月20日の地震は気象庁、その他の地震はGlobal CMTによる。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）\*より引用。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所、2022年9月6日現在）、その他の地震の被害は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.